

三浦しをんの『舟を編む』を精読する レジюме

- この小説の主人公は誰か？
- 香具矢は、なぜ馬締と結婚したのか？
- 馬締の辞書編纂にかける思いとはなにか？
- 言葉の意味を説明するときの注意点
- なぜ、税金で辞書を編まないのか？

『**百科全書**』（ひゃっかぜんしょ、L'Encyclopédie、正式には L'Encyclopédie, ou Dictionnaire raisonné des sciences, des arts et des métiers, par une société de gens de lettres）は、フランスの啓蒙思想家ディドロとダランベールら「百科全書派」が中心となって編集し、1751年から1772年まで20年以上かけて完成した大規模な百科事典。

ダランベールが執筆した『序論』によれば、これは、「技術と学問のあらゆる領域にわたって参照されうるような、そしてただ自分自身のためにのみ自学する人々を啓蒙すると同時に他人の教育のために働く勇気を感じている人々を手引きするのにも役立つような」事典であった。当時の技術的・科学的な知識の最先端を集めたこの書物は、古い世界観をうち破り、合理的で自由な考え方を人々にもたらすのに大きく貢献した。しかし企画段階から体制側との緊張関係のなかで刊行された『百科全書』は、そこに記された思想によって意味をもつだけでなく、その刊行自体が、一つの政治的な意味をもっており、18世紀のフランス啓蒙思想が成し遂げた成果といえる。

以上 ウィキペディアより

啓蒙思想（けいもうしそう、英: Enlightenment, 仏: Lumières, 独: Aufklärung）とは、理性による思考の普遍性と不変性を主張する思想。その主義性を強調して、啓蒙主義（けいもうしゆぎ）とも言う。ヨーロッパ各国語の「啓蒙」にあたる単語を見て分かるように、原義は「光で照らされること（蒙（くら）きを啓（あき）らむ）」である。自然の光（ラテン語: lumen naturale）を自ら用いて超自然的な偏見を取り払い、人間本来の理性の自立を促すという意味。

以上 ウィキペディアより